2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社Ｔ．Ｓ．Ｉ　　上場取引所　東 名
コード番号　　7362　　ＵＲＬ　https://www.t-s-i.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）北山　忠雄
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　　（氏名）三宅　裕介　　ＴＥＬ　075-393-7177

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,354	24.1	115	－	172	238.2	105	334.0
2025年12月期第３四半期	3,509	0.9	△26	－	51	△59.2	24	△68.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　105百万円（334.0%）　2025年12月期第３四半期　24百万円（△68.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	69.08	－
2025年12月期第３四半期	16.01	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,476	1,522	23.5
2025年12月期	5,807	1,414	24.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,522百万円　2025年12月期　1,414百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	5.00	－		
2026年12月期（予想）				10.00	15.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　　２．2026年12月期の第２四半期末配当金５円は、特別配当金であります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,951	21.8	162	300.6	205	48.0	123	50.3	81.13

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

２．2026年12月期（予想）の１株当たり当期純利益は、予定期中平均発行株式数によって算出しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	1,533,100株	2025年12月期	1,533,100株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	104株	2025年12月期	12,456株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	1,526,825株	2025年12月期３Ｑ	1,517,844株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東情勢について、６月中旬に米・イラン間で暫定的な停戦枠組みが合意されたものの、７月には双方の攻撃が再燃し、９月にはホルムズ海峡周辺での船舶への攻撃が相次ぐなど、原油・エネルギー価格は高水準で推移し、先行き不透明な状況が継続いたしました。日本においては、第二次高市内閣のもと政策の継続性が確保される一方、物価高は継続し、日銀は６月に続き９月にも政策金利を1.00％程度から1.25％程度へ引き上げるなど金融環境にも変化が見られました。

介護業界におきましては、高齢化の進展により介護サービス需要は引き続き拡大する一方、介護関係職種の有効求人倍率は依然として高水準で推移し、人材確保の困難な状況が続いております。こうした中、2027年４月に予定される介護報酬改定に向けた審議が本格化してまいりました。また、介護職員等処遇改善加算については本年６月より訪問看護等を新たに対象とする臨時改定が実施されたほか、2026年６月の診療報酬改定では、当社が事業を展開する訪問看護分野において、物価対応料の新設やベースアップ評価料の見直し等が行われた一方で、高齢者向け住まい等に併設する事業所を対象に「包括型訪問看護療養費」が新設されました。特定技能外国人の受入れも各地で拡大が続いております。

当社においては、特定技能外国人の積極的な受入れ、介護職員等処遇改善加算の取得や管理職を含む処遇の継続的な見直しを実施し、職員の確保と定着に向けた取り組みを継続してまいりました。また、物価高騰、人件費高騰等を受け、2026年９月には料金改定を実施いたしました。

2026年６月より開発に着手した介護請求システム「BillMaster」の開発を進めており、開発済みの介護記録システム「CareMaster」と合わせ、現場業務のデジタル化を推進しております。

当第３四半期連結累計期間においては、「アンジェス上溝」を新規開設いたしました。2026年９月末時点の運営状況につきましては、37棟1,158室（※）の全社稼働率は94.7％、オープン１年経過後拠点では稼働率が95.8％となっております。オープン１年経過後拠点の当社の稼働率目標値である97.0％を下回りましたが、2025年に新規開設した「アンジェス八王子」「アンジェス高尾」「アンジェス宇都宮御幸本町」はすべて満室に到達しております。

（※）５棟に設置している訪問看護利用者を想定した医療居室部分106室については、従来からの目標である稼働率97.0％という高稼働率を前提とした事業ではないことから、全社の介護居室稼働率の1,158室を分母としております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は43億54百万円（前年同期比８億44百万円増）、営業利益は１億15百万円（前年同期は、営業損失26百万円）、経常利益は１億72百万円（前年同期比１億21百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は１億５百万円（前年同期比81百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①介護事業

当事業におきましては、前連結会計年度に開設したアンジェス八王子、アンジェス高尾及びアンジェス宇都宮御幸本町が当第３四半期連結累計期間を通じて増収、増益に寄与しました。また、前第３四半期連結会計期間後に開設した「アンジェス上溝」が増収、増益に寄与いたしました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は41億18百万円（前年同期比６億８百万円増）、セグメント利益は１億２百万円（前年同期比70百万円増）となりました。

②不動産事業

当事業におきましては、２件の請負工事による工事売上高の計上がありました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における売上高の計上は２億35百万円（前年同期は売上高なし）、セグメント利益は38百万円（前年同期は36百万円のセグメント損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は64億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて６億69百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物が４億12百万円、土地が３億83百万円増加したことに対し、現金及び預金が１億83百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は49億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて５億61百万円増加しました。これは主に、短期借入金が５億２百万円、契約負債が１億21百万円増加したことに対し、長期借入金が１億31百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は15億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて１億８百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益１億５百万円により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては「2025年12月期　決算短信」で公表いたしました2026年12月期の連結業績予想から変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,186,365	1,003,339
売掛金及び契約資産	509,295	556,261
未成工事支出金	385	－
その他	248,720	290,869
貸倒引当金	△383	△329
流動資産合計	1,944,383	1,850,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,451,698	2,863,701
土地	1,064,377	1,447,972
建設仮勘定	123,530	65,209
その他（純額）	116,109	112,394
有形固定資産合計	3,755,715	4,489,277
無形固定資産		
その他	73,818	83,588
無形固定資産合計	73,818	83,588
投資その他の資産		
その他	34,223	54,788
貸倒引当金	△1,067	△829
投資その他の資産合計	33,155	53,959
固定資産合計	3,862,689	4,626,825
資産合計	5,807,073	6,476,966
負債の部		
流動負債		
工事未払金	36,409	35,940
買掛金	28,190	25,906
短期借入金	451,000	953,000
１年内返済予定の長期借入金	170,469	171,690
未払法人税等	53,842	68,567
賞与引当金	24,718	87,575
契約負債	190,461	312,215
その他	436,523	425,857
流動負債合計	1,391,613	2,080,754
固定負債		
長期借入金	2,956,980	2,825,799
その他	43,666	47,514
固定負債合計	3,000,646	2,873,313
負債合計	4,392,259	4,954,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,178	378,178
資本剰余金	279,978	279,978
利益剰余金	771,434	864,855
自己株式	△14,777	△113
株主資本合計	1,414,813	1,522,897
純資産合計	1,414,813	1,522,897
負債純資産合計	5,807,073	6,476,966

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,509,782	4,354,075
売上原価	3,093,178	3,748,559
売上総利益	416,603	605,515
販売費及び一般管理費	442,668	490,051
営業利益又は営業損失（△）	△26,065	115,464
営業外収益		
受取利息	1,520	2,911
受取配当金	2	2
補助金収入	90,419	82,764
助成金収入	5,184	7,236
その他	16,914	18,364
営業外収益合計	114,041	111,279
営業外費用		
支払利息	34,484	51,110
その他	2,440	2,983
営業外費用合計	36,924	54,093
経常利益	51,052	172,649
税金等調整前四半期純利益	51,052	172,649
法人税、住民税及び事業税	43,822	85,555
法人税等調整額	△17,075	△18,382
法人税等合計	26,747	67,173
四半期純利益	24,304	105,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	―	―
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,304	105,476

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	24,304	105,476
四半期包括利益	24,304	105,476
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,304	105,476

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	介護事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,509,782	－	3,509,782	－	3,509,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	116,682	116,682	△116,682	－
計	3,509,782	116,682	3,626,464	△116,682	3,509,782
セグメント利益又は損失	32,091	△36,615	△4,524	△21,540	△26,065

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△21,540千円には、セグメント間取引消去等4,686千円及び各セグメントに配分していない全社費用△26,227千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失との調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	介護事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,118,449	235,625	4,354,075	－	4,354,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	245,392	245,392	△245,392	－
計	4,118,449	481,018	4,599,467	△245,392	4,354,075
セグメント利益	102,319	38,904	141,224	△25,759	115,464

（注）１．セグメント利益の調整額△25,759千円には、セグメント間取引消去等1,576千円及び各セグメントに配分していない全社費用△27,336千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	118,942千円	160,484千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。